

ごあいさつ

校庭で見事に咲き誇っていた桜が、柔らかな新芽を伸ばし始めました。4月8日の始業式、12日の入学式を無事に終えて、14名の元気な新入生を迎え、学校は一気に活気が戻ってきました。昨年の春は、臨時休校で始まり、生徒のいない学校がいかに寂しかを実感すると同時に、学校の存在意義を改めて考えさせられました。今年も新型コロナウイルス感染対策を継続しながら教育活動を進めていくことに変わりはありませんが、一年前を思い起こすと、こうして新年度をスタートすることができたことをしみじみ有り難いと感じています。

さて、本年度より中学校においては新学習指導要領が全面実施となります。またGIGAスクール構想の具現化の第一歩として、各生徒に1台のiPadを配備し、授業等のなかで活用していきます。こうした時代の大きな変化に対応すべく私たち教職員も日々奮闘しているところです。そして、本校では『主体的、対話的で深い学びを取り入れた授業の工夫・改善～「学びを育む京丹波町メソッド」の実践推進』を研究課題として、積極的に授業改善を図り、言語活動の充実と探求的学習による学力向上に取り組んでいきます。また総合的な学習の時間で平成16年から積み上げてきた和知人形浄瑠璃や和知太鼓の学習についても、原点回帰で学び直しをしたいと思っています。ふるさとの素晴らしさを再発見することで、学びもより深まるのではないかと考えているところです。

本校は全校生徒43名という小規模校ですが、生徒は伝統文化の学習や文化的な活動、少人数ならではのチームワークの良さや生徒一人一人の活躍に自信と誇りを持っています。本年度も生徒会活動や様々な学習場面を通して、自己肯定感を育み、豊かな学びの実現を目指していきたいと思えます。



保護者の皆様や地域の皆様には、本年度も本校教育の推進に御理解と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和3年4月

京丹波町立和知中学校
校長 谷口 恭子

